

企画・製作／おだわらを拓く力

加藤市長に直撃！ 小田原市政 Q & A



Q1 市長は選挙で「チェンジの人」と訴えましたが、マニフェストは実現できたのですか？

A 生活の安心・安全・充実を最優先し、着手は100%、約9割が、達成もしくは目標に向け取り組み中です。

建物をつくることよりも、「形には見えないが、いのちに関わる重要なこと」を、最優先してきました。

- 財政 市の借金を3年間で200億円削減。
- 医療 市立病院の会計が黒字化。救急救命センター稼働、診療科の再開・増設
- 子育て 2年間で待機児童が半減。
- 防災 震災発生15分後には対策本部を設置。以後、津波対策、防災計画改定、被災地支援などを実施。

全ての政策の元となる財政の健全化も進んでおり、今後は確実な変化・成果が期待できます。

Q2 「市民ホール」「地下街」「お城通り再開発」は、どうなっているのですか？

A 26年度までに、運用を開始、または、設計を完了する予定です。

- 市民ホール 24年度用地確保予定。26年度設計完了。27～28年度建設。
- 地下街 24年度中に工事着手。25年度後半開業予定。
- お城通り再開発 鉄道側に緑道を整備中。26年度、城側で駐車場棟の供用開始。

新たな市民ホールは、市民参加による基本計画に基づき、芸術文化の拠点施設として位置づけ、小田原の創造的な活力の源泉とします。用地については、鉄道至近では、搬入やホール配置等のスペースの問題、騒音や振動の問題などもあり、文化発信に相応しい三の丸地区を選定しました。会議室やコンベンション機能などの諸施設は駅前が適地であり、機能分化を図ります。

Q3 報酬削減や減税が地方政治の話題となっていますが、小田原ではやらないのですか？職員退職金の増額というような話も聞きましたが？

A 今回の職員手当等の見直し全体では、大幅な削減となります。

まず、国の基準以上に支給されていた地域手当を、職員全体で2億円分削減。一方、県内各市と比べ支給額がかなり低水準にあった退職手当調整金は逆に、職責に見合う額へと適正化しますが、23年度分の全額で400万円の増加。下げるべきは下げ、上げるべきは上げるのですが、全体の基調としては大幅な削減です。

実行！

おだわらを拓く力

tel:0465(21)5260 小田原市栄町2-13-1-2F

あなたが主役で
動かす市政

101,000円

ASU資金にご協力をお願いします